

3. 橋詰および市民参加について

■ 資料の構成

資料1

橋のデザイン
について

1. 橋全体
2. 張り出し部
3. 橋脚
4. 色彩

資料2

橋上空間の
デザインについて

5. 橋上空間デザインの方針
6. a 舗装、b 高欄、c 親柱、d 地覆、
e 歩車道境界、f 照明

資料3

橋詰 および
市民参加について

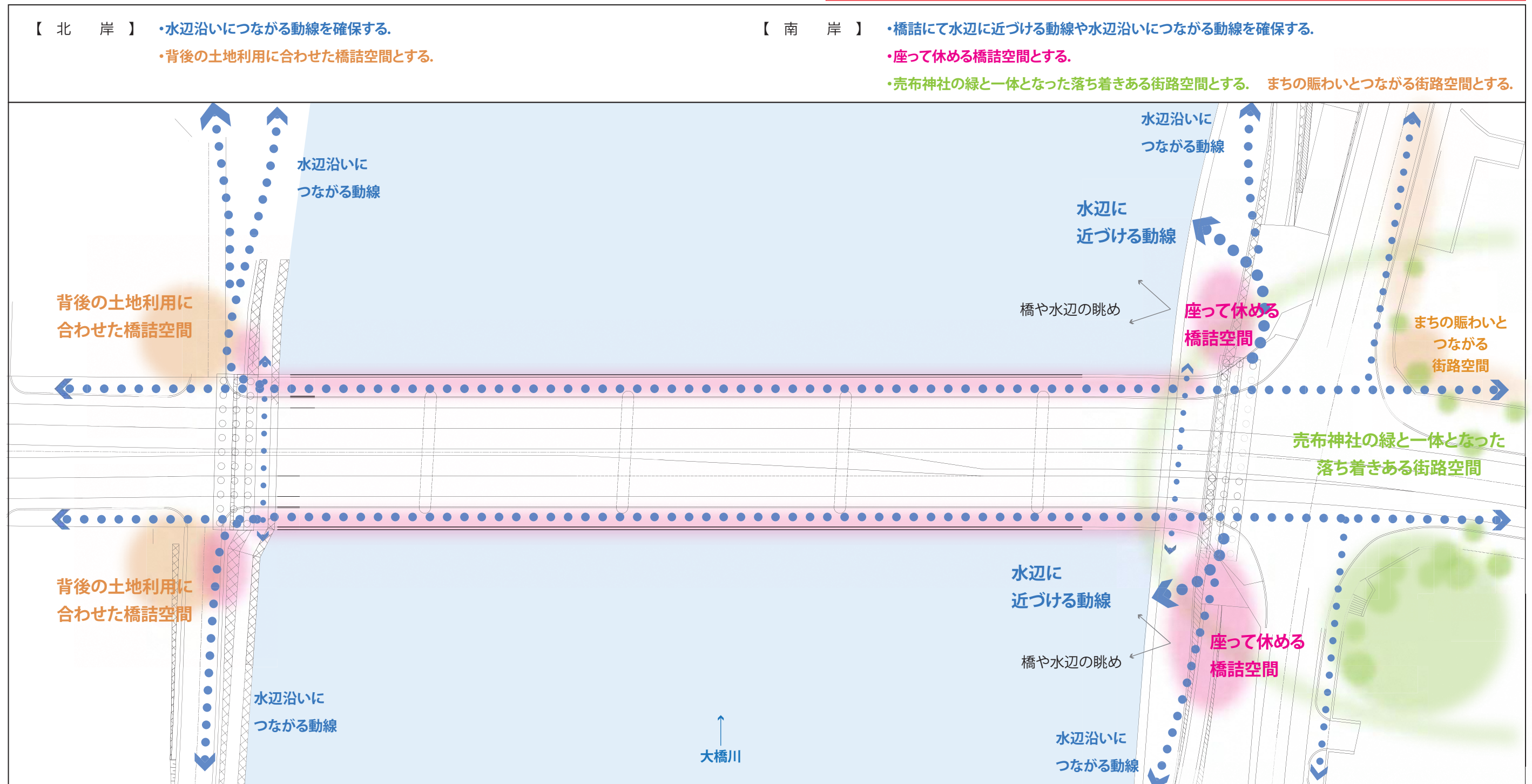
7. 橋詰および周辺空間の考え方
8. 市民参加について

■前回委員会で示した考え方

- ① 全体方針
 - ・ 橋詰付近には、座って橋と水辺の風景を眺められるような溜まり空間をつくります。
- ④ 橋詰のデザイン
 - ・ まちや水辺空間とスムーズに行き来でき、歩行者の回遊性を高める橋詰空間とします。
 - ・ 背後の街路やまちと一体となった『歩行者優先の空間デザイン』とします。

場所ごとの条件や特徴を踏まえ

※橋詰空間については、地権者のみなさまの意向や関係機関との調整が必要



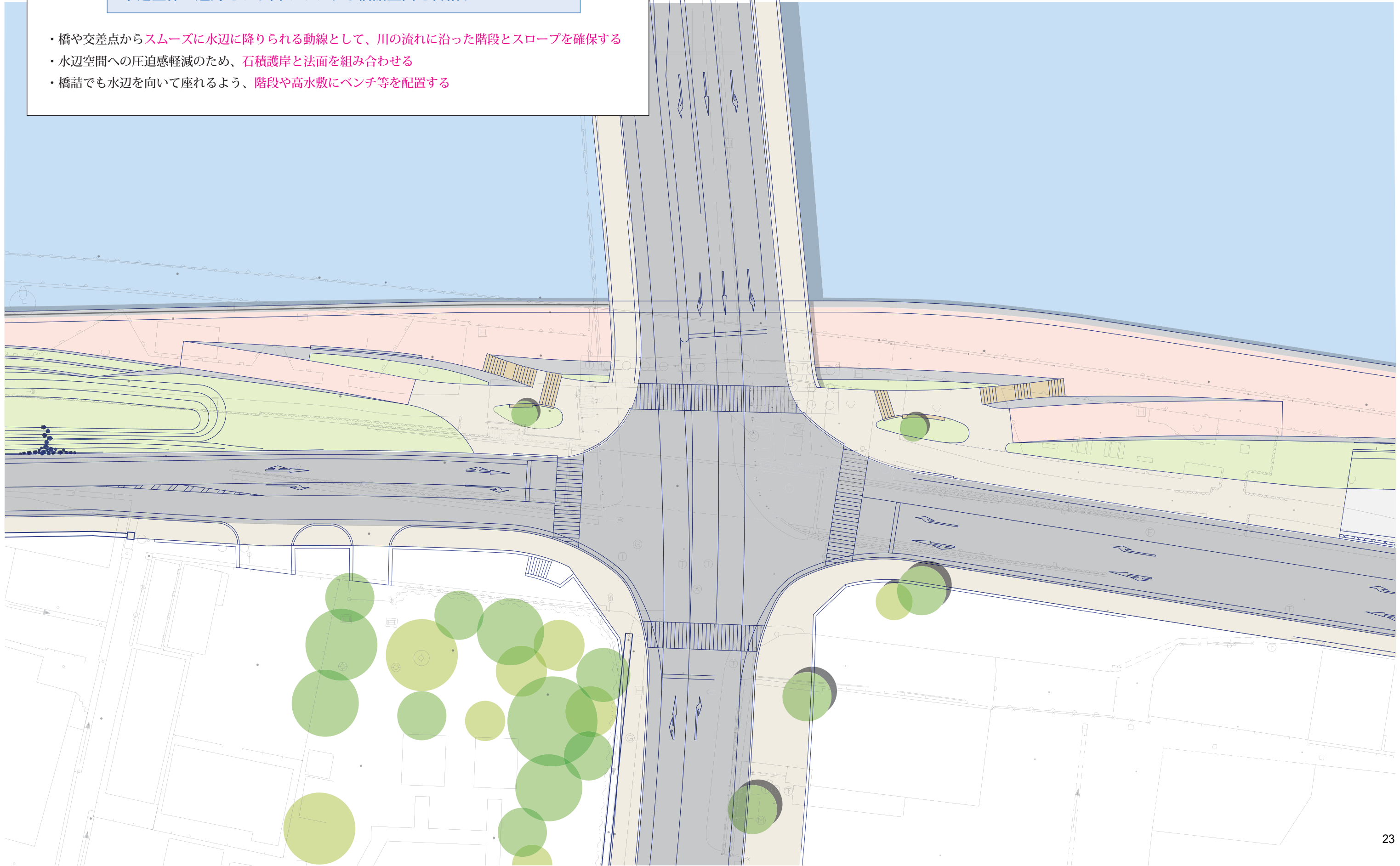
7. 橋詰および周辺空間の考え方（南岸）

■ 橋詰空間の考え方

市民の居場所となる水辺空間や川沿いのまちへの回遊性を生み出し、水辺全体の魅力をより高めるような橋詰空間を目指す

- ・橋や交差点からスムーズに水辺に降りられる動線として、川の流れに沿った階段とスロープを確保する
- ・水辺空間への圧迫感軽減のため、石積護岸と法面を組み合わせる
- ・橋詰でも水辺を向いて座れるよう、階段や高水敷にベンチ等を配置する

※橋の形状や橋全体のデザインに合った橋詰・水辺空間を検討し、今回提案を行う。



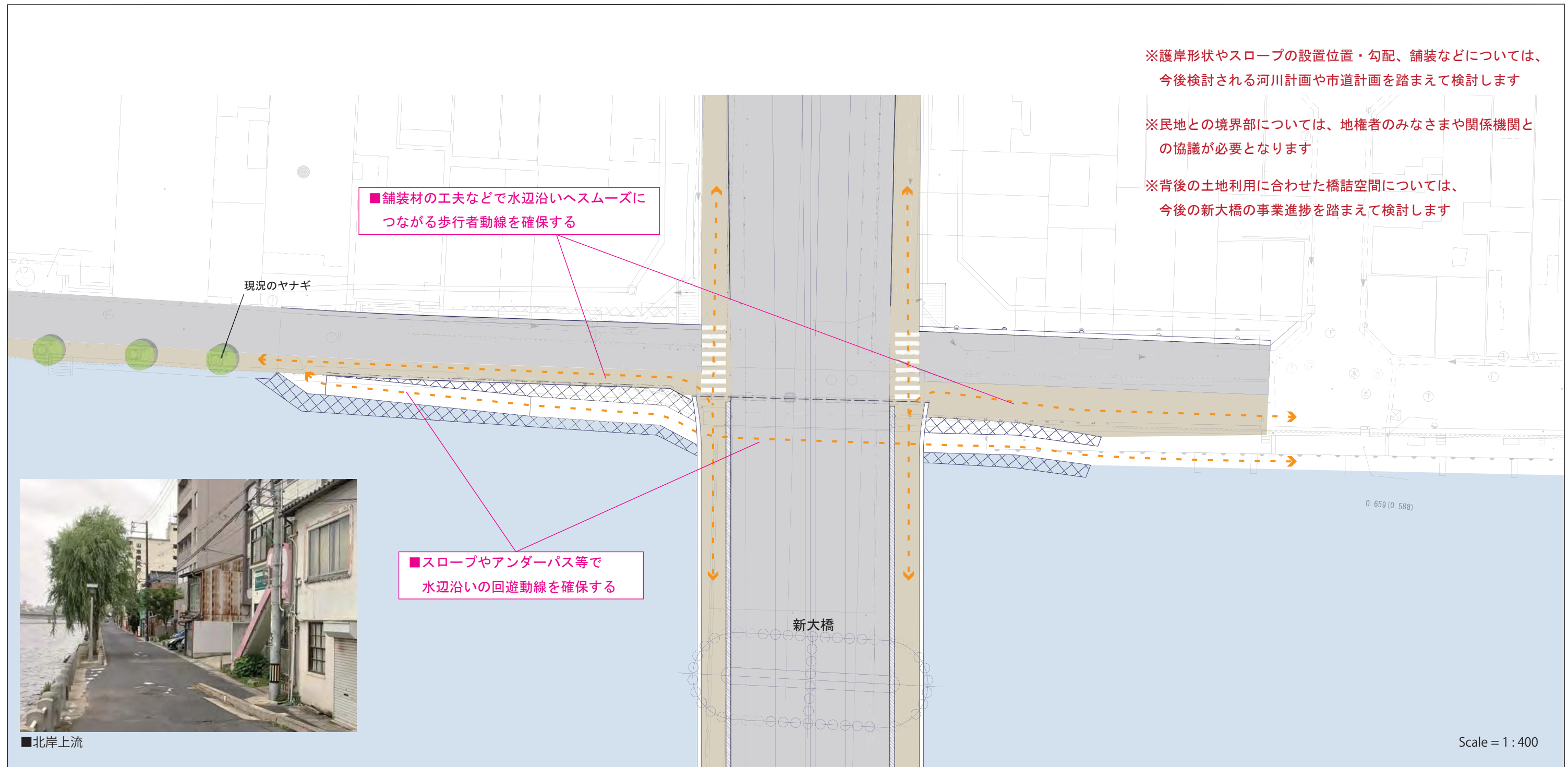
検討方針案

- < 検討方針 > ・新大橋整備基本方針を踏まえ、新大橋～水辺沿いの歩行者の回遊性を高め、背後のまちと一体となった空間づくりを目指す

新大橋整備基本方針より

④ 橋詰のデザイン

- ・まちや水辺空間とスムーズに行き来でき、歩行者の回遊性を高める橋詰空間とします。
- ・背後の街路やまちと一体となった『歩行者優先の空間デザイン』とします。



■ 8. 市民参加について

■ 市民参加に向けた今後の取り組み

昨年実施したアンケートや市民意見交換会でも非常に関心の高かった市民参加について、他事例などを参考に今後検討していく。

※赤色のアンダーラインについては確実に実施、
青色のアンダーラインは実施できるよう検討中、
その他は他事例を参考に内容も含め今後検討

テーマ③ みんなでつくる・みんなでつかう橋づくり

橋づくりにおける市民参加の事例をいくつか紹介し、参加したいと思う取り組みに投票して頂きました。
「現場見学会・情報発信」が最も多く、次いで「材料寄付」、「既存橋の活用」がほぼ同点の結果となりました。
※これらは事例のみです。

1位 現場見学会・情報発信 2位 材料寄付 3位 既存橋の活用 4位 色や材料決め
5位 自らの手で設置



2017年7月の市民意見交換会での投票結果

① 現場見学会・情報発信

事業内容、デザイン、工事の様子など関連情報を発信し、市民に新大橋のことを知ってもらう

A: 色決め用の色見本の展示
(例) モックアップの展示

- ・桁の色決定の際に候補色のサンプルを現場に提示
- ・歩道の張り出し部の原寸大模型を製作して展示



<事例> 塗装候補色のサンプル (広島・太田川大橋)

B: (例) 既存橋の撤去前のイベント

- ・現在は外から見られない昭和9年に架橋された中央部分の主桁を公開する



<事例> 橋の撤去前のお別れイベント (宮崎・小戸之橋)


② 材料寄付

今後100年残るまちの重要な橋の架け替え事業に実際に参加してもらう

C: タイルへの材料寄付

タイルにかかる費用について、県民をはじめ全国から寄付を募集

- ・応募方法、事務局体制について検討が必要
 - 参考事例を調査中(現地視察およびヒアリング)
 - 県内部関係部局と協議中
- ・ただの寄付ではなく、参加してみたいくなる工夫を検討
 - 例えば、寄付者名板を橋詰め付近に設置する、タイル裏に直筆メッセージ、複数の色が選べるなど



<事例> 刻印タイルの募集のチラシ (各務原大橋)

③ 既存橋の活用

既存橋の部材などを活用する取り組みを、市民と協働して検討・実践する

D: (例) 橋名版の再利用

- ・現況の親柱に設置されている青銅製の橋名版を新しい親柱に再利用する



<新大橋> 現況の親柱と橋名版

E: (例) 橋台基礎の松杭を加工し活用

- ・現在の橋台基礎の下に残っている松杭を橋詰のベンチなどに再利用する



<新大橋> 架橋時の松杭 <事例> 旧橋台の松杭を展示 (西仲橋)

F: (例) 既存橋の一部を展示

- ・現在では採用されない歴史的価値のあるゲルバー桁や支承をどこかに保存・展示する



<新大橋> 架橋当時の支承 <新大橋> 架橋当時のゲルバー桁の結合部

G: (例) 配筋モデルの展示

- ・スイス連邦工科大学の建物内に展示された配筋モデル



<事例> スイス連邦工科大学の建物内に展示された配筋モデル